高質な田舎
AKITAVISION

2018.6月号／毎月第4土曜日掲載

あきた県広報

企画・構成／秋田県 総務部 広報広聴課
☎018-860-1076 FAX018-860-1072
joukai@pref.akita.lg.jp

©2015秋田県んだッチ

県政広報のご案内

【全戸配布広報紙】
奇数月1日発行
あきたびじょん
「声の広報（音声CD版）」
「点字広報」もあります

【県公式ウェブサイト】
美の国あきたネット
県公式 Facebook
県公式 Twitter

【テレビ広報】
18:55～19:00 放送中!
あきたびじょんNEXT
毎週月曜日／秋田朝日放送（AAB）
毎週木曜日／秋田放送（ABS）
秋田テレビ（AKT）

【ラジオ広報】
7:50～7:53 放送中!
秋田県からのお知らせ
毎週金曜日／エフエム秋田

県からのお知らせ

クマ被害を防ごう
～クマ出没注意報発令中～

●山や野外での活動では、単独行動は慎みましょう。
●鈴や笛、ラジオなどを身に着け、周りに音を出しながら行動しましょう。
●子グマを見かけても、そばには必ず母グマがいると考え、決して近寄らないでください。
●生ゴミや残飯などを捨てないでください。
クマをその場所に引き寄せる原因になります。

クマ被害防止セミナー「クマについて考えよう!」

クマの生態や被害防止対策の専門家によるセミナーを開催します。参加申込は、県自然保護課まで。

とき	7月22日(日)13:30～16:30
ところ	ルポールみずほ(秋田市)

詳しくは クマに注意 秋田
県自然保護課 ☎018-860-1613

心のバリアフリーを広げよう
～ヘルプマーク知っていますか～

ヘルプマークは、配慮や支援が必要なことを周囲に知らせるためのマークです。
このマークを見かけたら、バスや電車の中で席を譲る、困っているようであれば声をかけるなど、思いやりのある行動をお願いします。誰にとっても暮らしやすい社会のために、心のバリアフリーを広げましょう。

詳しくは ヘルプマーク 秋田
県障害福祉課 ☎018-860-1331

「犯罪被害を考える日」街頭キャンペーン
～6月30日は「犯罪被害を考える日」～

犯罪被害者等支援シンボルマーク「ギュっとちゃん」

街頭キャンペーンでは、犯罪被害者の写真や生前履いていた靴などを展示するほか、被害者などの手記を配布します。誰もが、ある日突然、犯罪の被害者やその家族・遺族になる可能性があります。この機会に、あなたも犯罪被害について考えてみませんか。

とき	6月29日(金)7:00～10:00
ところ	秋田駅東西連絡自由通路「ぽぽろーど」

詳しくは 犯罪被害を考える日 秋田
県県民生活課 ☎018-860-1522

森づくり活動に参加しませんか
～2018あきた水と緑の森林祭～

秋田県の「水と緑」を未来へ継承していくため、森林祭を開催します。植樹活動や木工体験のほか、「ご当地キャラクター大集合」や「2018 みどりの女神トークショー」など、企画が盛りだくさん。ぜひ、会場にお越しください。

とき	7月7日(土)10:00～15:00
ところ	大台野広場(美郷町)

※県庁・会場間の無料送迎バス（定員60名）と六郷湧水群体験ツアー（定員50名）は、6月25日（月）午前10時から申し込みを受け付けます。

詳しくは 2018水と緑の森林祭
県森林整備課 ☎018-860-1750

あなたの就活をサポート!!
～地域若者サポートステーション～

地域若者サポートステーションでは、働くことに踏み出せない 15 歳～39 歳の若者からの就職相談を受け付けています。お気軽にご相談ください。

あきたサポステ（秋田市）

受付時間	9:00～17:00
休館日	第1・3土、日、祝日、8月12日～16日、年末年始
連絡先	☎018−892−6021（面接相談は要予約）

サポステよこて（横手市）

受付時間	10:00～16:00
休館日	水、日、祝日、年末年始
連絡先	☎0182−23−5101（面接相談は要予約）

詳しくは あきたサポステ または サポステよこて

県政特集 ▶秋田のこれからを支える〝攻めの農林水産戦略〟

秋田県が目指す 新しい農業のカタチ

秋田県のこれからの農業について、農林水産部長がお答えします。

秋田県農林水産部 部長
齋藤　了

Q.秋田県が目指す新しい農業のカタチとはなんですか?

本県には米づくりに適した気候条件を背景に、全国的に知名度が高い「あきたこまち」の生産など、稲作中心の農業が行われてきた長い歴史があります。しかし、稲作だけに依存した農業は、米価変動の影響を受けやすく、農閑期の収入源がないなどのリスクを抱えています。そのため、新しいカタチとして「複合型生産構造への転換」を進めています。

Q.複合型生産構造への転換をどう進めるか教えてください。

複合型生産構造とは、米づくりも大切にしながら、高収益な園芸作物などを生産していくというものです。複合型生産構造へ転換するため、県では販売額1億円を目指す「園芸メガ団地」や「大規模畜産団地」の整備を県内全域で進めるとともに、日本一を目指す品目の生産・販売対策に力を入れていきます。

Q.農家に期待していることはなんですか?

農業で一定の所得を確保する形態として、大規模農業のほか、花卉（かき）のハウス栽培のように少ない面積でも高所得が期待できる集約型農業、こだわり農法やストーリー性をウリに高価格で販売する高付加価値型農業など、さまざまなパターンがあります。

農家の皆さんには、どのような形態を目指すのか検討し、実践してほしいと思います。県としては、支援制度を準備し、それぞれが目指す営農の実現に向け、市町村やJAなどと連携し、技術・経営の両面からサポートしていきます。

Q.消費者の協力も必要ですよね?

消費者の皆さんには、特に旬の時期に県産品を味わって、そのおいしさ、品質の良さを知ってほしいです。そして、県産品の魅力を県外の知り合いの方に伝えるなど、県民全員で秋田の農業を応援してください。

複合型生産構造への転換を進めます

県では、「大規模団地の全県展開」や「日本一を目指す園芸産地づくり」を通して、秋田の農業を米だけに偏らない複合型生産構造へ転換します。

▶ 大規模団地の全県展開

本県の園芸振興をリードする園芸メガ団地や、収益性の高い大規模畜産団地を全県に展開します。また、メガ団地での雇用の確保や新規就農者への支援を通して、次世代の後継者の育成も行います。

▶ 日本一を目指す園芸産地づくり

県では、日本一を目指す品目として、シイタケやエダマメ、ネギ、ダリアの生産・販売対策に力を入れています。その中からシイタケとエダマメの魅力を紹介します。

目指せ三冠王! 秋田のシイタケ

京浜地区の中央卸売市場での販売単価が全国1位と、確かな品質が認められている秋田のシイタケ。今後は、販売活動を強化し、販売量、販売額、販売単価の三冠王を目指します。

日本一! 秋田のエダマメ

東京都中央卸売市場への出荷量日本一を達成し、すっかり認知度も上がった秋田のエダマメ。今後は、京浜地区の中央卸売市場での出荷量日本一を目指します。また、関西圏でも積極的に販売を促進します。

秋田のシイタケ　その魅力

昨年放送した県政テレビ番組でも秋田のシイタケを特集しました。ぜひご覧ください。

秋田のシイタケ　WebTV

秋田オリジナル品種～収穫時期と特徴～

あきたさやか
- 8月下旬～9月上旬
- きれいな緑色のさや
- 甘みのあるうま味

あきた香り五葉
- 9月上旬～中旬
- 豊かな香りと甘み
- 冷めてもおいしい

あきたほのか
- 9月中旬～下旬
- 粒が大きい
- コクのある濃いうま味

豆知識が得られるスペシャルサイトも要チェック

秋田のエダマメ

日本一を目指して!?

◆県政特集について詳しくは◆
県農林水産部園芸振興課
☎018-860-1801 FAX018-860-3822
engei@pref.akita.lg.jp